

SINCE 1977

Light Friend Association



LFA

社会福祉法人 光 友 会 会報

光友会ホームページ <http://www.lfa.jp>

128号



謹
賀
新
年

理事長 五十嵐 紀子

申年の年明け、先ずはおめでとうございます。

ここで何故冒頭に先ずはという表現をしたのかというと、新年早々で恐縮ですが、本心は、余りおめでとうを申し上げる気分ではないからです。

理由はいろいろありますが、第1に社会情勢の悪化がかなり重症化していると思うからです。昨年1年間を観てもテロによる各国の事件、鉄道・飛行機等の事故を初め天災や異常気象も含め、この地球と地球に暮らす人間の生き方が変化しているのかと思う位です。

福祉関連で言えば老人施設における虐待と事故、子供の貧困問題等、TV・新聞で報道されない日はありません。唯一少し明るい話題は、今年の4月から「障害者差別解消法」が施行される事でしょうか。障害を持った当事者がその事自体で差別されない環境が保障される事が法律で定められ施行されるのです。これは、稀少価値のある明るい話題と言えると思います。

第2にお話ししたいのは、現在貧富の差が益々拡大し大きな二極化が進んでいると思うからです。

1年後に実施となる消費税8%から10%への増税、医療費の個人負担増、等々国民に重税感が重くのしかかっています。その上にマイナンバー問題が加わって、まさに大混乱模様です。

※次ページに続く

もくじ

- 年頭のごあいさつ P1-2
- コラム「あーいえばこーゆーカい」㉙ P2
- 藤野克己氏が第33回鳥居賞を受賞 P3
- 事業所だより P4-6
- クリスマスケーキほかお礼 P6-7
- 光友会事業推進協議会だより P8



こんな時、私達はどう対応したらよいでしょうか。

特効薬がある訳ありません。一過性のものならまだ対応方法も考えられるのですが、高齢者が多くなり、人口は減少する成熟社会に於いて、私達はどう生きるのかを今こそ真剣に考えなければならぬ時ではないかと考えます。

一方に於いて子供達の「おもちゃ」として売られているコミュニケーションロボットでさえ、会話によりどんどん学習し、コミュニケーションの幅を大きく拡大していくという現実、更に感情を持ったロボットが人間を攻撃する時が来るとも言われる中で、今年は申年にちなんで、多数の人間同士が協力し合い知恵を出し

合って、心の内面を豊かにし嫌な事を押し返す年としたいと思います。

当法人では、昨年途中から市の提唱する縁側事業を始めています。ここでは、障害者アートの展覧会、うどんやパンを作る体験事業、皆で集まりお茶のみ話の場としても活動しています。

今年は更におもしろい企画を考えているので、関心を持たれた方々は、何卒お越しになってみてください。

終わりにひとりひとりが昨年の2倍のパワーを振り絞って明るく元気に過ごしましょう。引き続き光友会をよろしくお願ひいたします。

新春の集い



▲来賓のごあいさつ



▲感謝状を贈呈

例年なく暖かい年明けの一月五日、光友会新春のつどいが開催されました。理事長の年始の挨拶に始まり、議員の皆様をはじめ、地域との連携にご協力いただいている方々もご来賓としてお越しいただき、今年の初めを大いに賑わうことが出来ました。

森 淳



▲熱唱カラオケ大会



▲職員表彰



▲来賓のごあいさつ

あいえはこーゆーかい 28

理事長 五十嵐 紀子

「五十嵐光雄の七回忌を終えて」

去る 11 月 14 日に当法人創設者 故五十嵐光雄の七回忌を行った。

最初の予定では、60 名程度の方の御出席を考えていたが、結果は 70 余名の方に御参加頂き、人生の様々な場面での思い出話等リレー方式で語って頂いた。

今回はこの内容について記述するのではなく、何故こんな形の七回忌を計画し、実行したのかについて少し語らせて頂くことにする。

彼が私と共に光友会を創設したのは、今から 39 年前のことになる。

当時五十嵐光雄は盲学校教師をして居り、私は藤沢市議會議員を務めていた。

最初は、小さなサロンから始め、そこを使って作業をやる事になり、「さがみライトサロン」と名づけてソニー電子の小さな下請けの作業所として出発、行政から点字や録音の仕事も頂くようになり、私たちの住まいのスペースがどんどん圧縮されていった。

しかし、その頃は未だ、五十嵐光雄は、教師の仕事は退いていなかった。やがて、福祉運動・雇用運動を続けていた私たちの前に定員 20 名の通所の作業所を法人格で作ってよいという制度が出来て、早速にバタバタと準備をし、昭和

51 年 12 月法人認可、翌年の 4 月に施設開設(20 名定員)、全国で最小の規模での法人格を取得したのである。

この時から 2 年、五十嵐光雄は私に何の前相談もなく突然職場を退職してきたのである。私の報告は、「今日で学校を辞めてきた」という事後報告の一言である。

それを覆す事が出来る筈もなく、私たちの福祉事業への本格的な取組みが始まった。五十嵐光雄の収入は前職の 1 / 4 となり、退職金も次の施設建設の用地取得の為、全てが消えた。

それでも、今私は一人になってしまったが、事業の継続は周囲に支えられ出来ている。只々感謝のみである。

五十嵐光雄は自分の生き方の中で、視覚障害者の雇用は他の障害と比較して厳しい環境をふまえて、先生の就職口を 1 人でも若い人に譲りたいと 50 歳で退職すると心に決めていた事をずっと後になり聞かされた。

こんな話も含め、七回忌の時には「思い立つたら即実行」を信条としていた五十嵐光雄の人柄を多くの方々が学生時代の諸活動を通して、音楽仲間方々からの笑いのメッセージ、等々楽しい話を沢山聞くことが出来た。

その時の様子を D V D に収録して頂き、今後の光友会の研修等にも有効利用したいと考えている。

破天荒な生き方をしたと五十嵐光雄に想いを寄せる時、最近の若い人たちの多くに、もう少しこうした要素を持ち、行動して欲しいと考えるのは欲張りとお考えだろうか?

是非、賛否両論のリアクションを期待したい。

◆◆◆ 藤野克己氏が第 33 回鳥居賞を受賞 ◆◆◆



「鳥居賞」受賞、本当に
おめでとうございました。

9 月 11 日、京都ライトハウスにおいて、元神奈川ワークショップ所長でもある藤野克己氏が第 33 回鳥居賞を受賞され表彰を受けられました。

鳥居賞とは、京都ライトハウス創設者で、元日本盲人会連合会長の故鳥居篤治郎氏の業績を記念して贈られ、視覚障害者福祉に貢献をされた人々に対し、功績を称え表彰を行うものです。

藤野氏は、現在、N P O 法人全国視覚障害者情報提供施設協会で事務局長を務め、点訳マニュアルや中途失明者向けの大型点字の製作、凸型点字器の開発など、永年にわたり点字の普及に取り組まれてきました。また、神奈川ワークショップを退職された後も、光友会との繋がりの中、最近では点字講習会の講師や、今年 4 月に行われた統一地方選挙での点字版公報製作における神奈川ワークショップ点字部門のチーフアドバイザーとして、多大なるご協力をいただきました。

後日、光友会関係者でお祝いの会を開き、受賞のお祝いをさせてもらいました。

事業所だより

Light Friend Association



湘南希望の郷

クリスマス会

須藤 嵩登

今年も湘南希望の郷にてクリスマス会が行われました。

初めにクリスマスツリーのカウントダウンからスタートしました。利用者の皆さまの掛け声で、ライトアップされました。

次に、希望の郷音楽グループで活動している利用者の皆さまによる合唱の発表でした。

曲目は、「ジングルベル」「いつでも夢を」「見上げてごらん夜空の星を」「きよしこの夜」の計4曲で、季節に合った組み合わせでした。

次は、希望の郷利用者の高橋 伸さんによる、プロジェクト発表でした。「ギャラクシーリー」という星座についての内容で、音声解説付きの分かりやすい発表でした。

そして最後に今回の目玉、ボランティア・ふれあい太鼓様による、太鼓の演奏でした。すさまじい太鼓の演奏は、希望の郷全体に響き渡り、かなりの大音量でした。

これにて終了となるところだったのですが、サプライズとしてサンタから利用者の皆さまにプレゼントがあり、無事に今年のクリスマス会も終了しました。



湘南希望の郷ケアセンター

阿部 誠

11月7日に、湘南希望の郷ケアセンターでは外出行事の一つとして、『よこはま動物園ズーラシア』に行ってきました。利用者様が14名参加され、オカピなどの稀少な動物やスマトラトラなどの迫力のある動物を見てきました。また、今年4月から開園された「アフリカのサバンナ」エリアでキリン、シマウマ、チーター、ライオン、ミーアキャットなども見ることができ、一日動物園を楽しむことができました。



神奈川ワークショップ

佐倉 美香子 佐藤 振一

1泊旅行



11月12日～13日静岡県・浜名湖方面に、利用者・職員合わせて68名で行ってきました。初日は豪華な昼食、浜名湖クルーズを満喫して、夜は大宴会、カラオケで大盛り上がりでした。2日目はみかん狩りを楽しみ、お昼は恒例のバイキングでお寿司とご当地グルメを堪能し、お腹をいっぱいにして帰路につきました。

両日ともに天気に恵まれ、とても楽しい旅行となりました。来年また楽しく旅行に行けるようにお仕事を頑張っていきます。

ライフ湘南



餅つき・忘年会！！

松井 正志

空高く澄みわたる穏やかな年の瀬、恒例の餅つきと忘年会を行ないました。

蒸し上がったもち米の準備が整ったところで、利用者の皆さんのが列を作り「そーリや、よいしょ！」の掛け声の中、順番についていきました。ふかしが足らず芯が残るお餅もあつたりしましたが、それはご愛嬌(笑)！つきたてのお餅を、あんこ・きなこ・いそべ餅にして、豪華なオードブルと共に腹一杯美味しくいただきました。

午後には利用者自治会主催の忘年会が開かれ、bingoやクイズ、カラオケでおおいに盛り上がり、一年の締めくくりを飾る楽しい一日となりました！

藤沢市 太陽の家

しいの実学園

野間 紀子



恒例行事の一つ「餅つき大会」がありました。朝から暴風雨…。「よいしょ」の大きな掛け声が見事に勝ち、餅つきをする頃には、晴れ間も見え、皆で元気いっぱい餅つきを楽しみました。

もう一つの恒例行事、「お楽しみ会」では、無口なサンタさんや、大きなバイキンマン、ちょっとおっちょこちょいなアンパンマンが登場。また、リトミックでお世話になっている水野先生とお仲間に、ハンドベルで素敵なお演奏をしていただきました。子どもたち、保護者、職員一同、楽しい時間を過ごすことができました。



藤沢市 太陽の家

藤の実学園

二見 弘樹



12月4日に年末の恒例行事となっている「お楽しみ餅つき大会」が太陽の家体育館にて開催されました。

利用者、職員協力し、力いっぱい餅つきをおこない、美味しいお餅ができました。

餅つきの後は、生活班、活動班に分かれ、この日の為に頑張って準備してきたハンドベルやパレードを披露し、来場者からたくさんの拍手をいただきました。最後にお餅を入れたお汁粉をご家族、ボランティアの方々と一緒にいただき、楽しいひと時を皆で共有する事ができました。

いそご地域活動ホームいぶき

いぶきまつり 2015

奥田 佳子



今年度も「いぶきまつり 2015」を磯子スポーツセンター・新杉田公園・南部地域療育センター（今年初参加）のイベントに合わせて10月18日に同日開催しました。

来場者は4施設合わせて3,400名、いぶきまつりは950名と昨年を上回る来場者数になり、多くの近隣の方々に楽しんでいただくことができました。

今年の「いぶき杯・カラオケ大会」では演歌歌手モナオさんが特別参加者として3曲を披露し、うち1曲はいぶきの女性職員とデュエットしました。

おまつりの最後には恒例の「大抽選会」を開催！！豪華景品を求めて200名ほどのお客様が参加しました。番号が読み上げられるたびに歓喜とため息が沸き起り、大盛りあがりのいぶきまつり 2015は閉会しました。



クリスマスケーキありがとうございます！

今年もいすゞ自動車株式会社 藤沢工場様よりクリスマスケーキを当法人各事業所に寄贈いただきました。利用者さんの笑顔をもってお礼とさせていただきます。
ありがとうございました。



VoXRAY
—ヴォクスレイ—



今年も沢山の方にご来場いただきありがとうございました。来年も宜しくお願ひ致します。

チャリティーエグゼクティブ委員会事務局

中野・平澤

1月8日第33回光友会
チャリティーコンサートが
藤沢市民会館大ホールにて
行われました。今回はアン
コールにお応えして、5年
前にも出演していただいた
「ボクスレイ」さんを迎
てのコンサートとなりまし
た。会場では素晴らしいア
カペラヴォーカルの歌声に
加え、利用者さんがステー
ジに上がり、トークをして
一緒に歌ったりと、会場
全体が笑顔に包まれる様な
コンサートとなりました。

光友会 第33回
チャリティーコンサート御礼

★湘南希望の郷からのお願い★
0466-48-4500

電動ベッドをお譲りください。

入居者様の負担軽減や職員の腰痛予防のため
介護用具等の購入も進めているところです。そ
の中で、ご自宅等で使わなくなった電動ベッド
がございましたら、是非お譲りください。
お電話いただければ、
引き取りに伺います。
担当 森

新人紹介

New Face introduction

湘南希望の郷 健康課

田中 えりか



①お菓子づくり
②爬虫類 大好き

①今夢中になっている事 ②実は私は〇〇なんです。or〇〇だったんです。

藤沢中央ライオンズクラブの 皆様によるもちつき大会



声が大きく響き渡り、次々とおいしそうなお餅がつきあがっていきました。お餅をつく音を聞くと今年一年も元気に過ごせた喜びと、新年を迎えることができる感謝の気持ちでいっぱいになります。

もちつき大会にはもち米、餡・黄な粉等の食材を毎年、寄附していただいております。
藤沢中央ライオンズクラブの皆様、ありがとうございました。

藤沢商工会議所表彰式



11月10日に、当法人五十嵐理事長が藤沢商工会議所において、多年に渡り市の産業発展に貢献してきたことが評価され、表彰状を授与されました。



SPグループ様 クリスマスケーキ
ありがとうございます！

辻堂に事業所のあるSPグループ様より、
ケーキを頂きました。生クリームとチョコ、子
ども達はどちらにしようか悩み、チョコに決定。
もっと欲しいと泣いたり、口の周りにチョコを
つけ顔張る子とクリスマスイブのひと時を過ご
しました。おいしいケーキをありがとうございました。



---- 平成27年度神奈川県眼科医会 「愛の募金箱」 から寄付金が贈呈 ----

1998年から神奈川県内の眼科医院等に「愛の募金箱」が置かれるようになりました。この「愛の募金箱」に入れられた募金は、県内の盲学校、腎・アイバンク、網膜色素変性症協会、神奈川難病連等、視覚障害者支援団体を対象に贈呈されます。

光友会は、創設当初から視覚障害者に対してさまざまな支援活動を実践し、毎年「愛の募金」をいただいている。今年度も10月22日、神奈川県総合医療会館にて開かれた、神奈川県眼科医会理事会に招かれ55,000円の寄付金をいただきました。今後も光友会理念に基づき、神奈川県眼科医会のご期待に添えるよう努力を重ねていきます。ありがとうございました。

経営企画室 本谷 守



しいの実学園



光友会事業推進協議会だより

光友会事業推進協議会が伝えたいこと

「推進協会員拡大を目指して」

推進協会長 松沢 明彦

新年あけましておめでとうございます。光友会が創設されて、来年2017年で40周年となります。五十嵐理事長のご自宅が地域に開かれ、障害のある方、ご家族、ボランティアさん等、志を同じくする人たちが集う場所の始まりとして40年余りが経ちます。

そして、光友会を支える後援会もスタートして39年。しかし、この間ご協力していただいた後援会員の高齢化での退会が目立つようになりました。

推進協では、毎月第一水曜日の午後、五つの輪となる、利用者・家族・職員・法人役員・市民の各部会長14名が「推進協企画運営会議」に集まり、会員加入増を一つの重要課題として協議しております。

湘南希望の郷 真鍋直規家族部会長から、湘南希望の郷玄関横掲示板に「イキイキチャ

レンジ職場改善活動」(写真)の取組が見られるとお聞きしました。推進協もこのように「見える化」し、今年は、皆様の声を幅広くいただく仕組みを作ったり、推進協の魅力を作り、五つの輪をさらに大きくしたいと思います。持てるお力のご協力をお願い致します。



●会費納入をお願いいたします。

会費納入先 (郵便払込口座番号 (赤色))

口座番号 : 00260-2-49486

口座名義 : 光友会事業推進協議会

(一口 2,000円)



会費納入状況 (12/2現在 263名)

1,070,000 円

(昨年度 : 344名 1,426,500円)

(バザー収入 94,595円)

編集後記

昨年の漢字は「安」でした。みなさんは「安」の字の前や後ろにどんな字を加えますか？社会福祉法人の一員としては「心」か「全」ですよね。また、ある法律のせいで「不」を思い浮かべる方もあるかと思います。安易に流れず、安穏な日々を！！今年も？今年は？やすらかな年でありますように。

(N.M.)

なお、本紙掲載の写真につきましては本人・家族、又は団体等の了解を得ています。

※※※ 編集委員 ※※※

五十嵐(本部)、森(総務部)、松井・井地(就労支援部)、丸山(芽)・大貫(敦)(地域生活部)、中山・二見(藤沢南部地域福祉部)、村井(磯子地域福祉部)

季刊 LFA 第128号

発行日 2016年1月

発行 責任者 光友会 理事長 五十嵐 紀子

発行所 〒252-0825 藤沢市瀬戸 1008-1
社会福祉法人 光友会
電話 0466-48-1500

印刷所 神奈川ワークショップ